点検・お手入れ

安全に末永くご使用頂くため、以下の点検とお手入れを定期的に行なってください。

■ボルトが緩んでいないか定期的に点検し、緩んでいた場合はしっかりと締め直してください。

■がたつきやひずみがないか確認してください。がたつきやひずみがあった場合は、ボルトを緩めて修正した後、ボルトをしっかりと締め直してください。

■表面が汚れてきたら、乾いた柔らかい布やスポンジなどで汚れを拭きとってください。汚れが落ちないときは、水、または中性洗剤（石けん水等）を布に付けて拭き、最後にからぶきをしてよく乾燥させてください。
※シンナー、ベンジンなどの溶剤は、表面を傷める恐れがありますので、使用しないでください。

ご不明な点や修理ならびにお取扱い、お手入れに関するご不明な点は、お買いあげの販売店か、お客様技術相談窓口にご相談ください。

備考欄

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号
E-mail:techno.center@trusco.co.jp

お客様相談室
TEL 0120-509-849
FAX 0120-509-839

http://www.orange-book.com/

品番：TORI-KEI-2

1106-SA- 第２版

軽量棚（ボルト締めタイプ【背板・側板付型】）組立・取扱説明書

品番：TORI-KEI-2

このたびは、TRUSCO軽量棚をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、棚板の取り付け・取り外し、交換、追加が簡単にできます。焼付塗装のためサビ・キズ等に強く、汚れも目立ちませんので、オフィス、工場倉庫、店舗で末永くご使用いただけます。

■ ボルト締めタイプ：棚１台当りの最大積載量：1000kg ／台
■ ボルト締めタイプ：棚板１段当りの均等積載量：100kg ／段

※各タイプの棚板の均等積載量の合計が、各タイプの最大積載量／台を超えないように、また重心がなるべく下部になるように調整してください。
※「最大積載量」とは各棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計をいいます。
※「均等積載量」とは、棚板の表面に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さをいいます。

安全上のご注意

ご使用のまえに、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ この組立・取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■ 最大積載量以上の荷物を置かない
棚が傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

■ 不安定な場所に置かない
棚が倒れたり、荷物が落下して、けがをする恐れがあります。

■ 足をかけたり、よじのぼったりしない
転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らしたりして、けがをする恐れがあります。同梱の「警告表示シール」を必ず貼付し、表示に従ってください。

※ボルト締めタイプ用、棚受けタイプ用の２種類の警告表示シールが添付されています。仕様にあったシールを貼ってください。

⚠注意	取扱いを誤った場合に、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 組立は組立・取扱説明書の手順に従う
手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、けがをする恐れがあります。

■ 重い荷物を上段に置かない
重い荷物は下段に置いてください。棚が転倒し、けがをする恐れがあります。

■ かたよった収納はしない
バランスを失って棚が転倒し、けがをする恐れがあります。

■ 最上段の棚板に荷物を置かない
棚が倒れたり、荷物が落下してけがをする恐れがあります。

■ 変形・破損したまま使用しない
転倒・落下により、けがをする恐れがあります。

■ 改造や無理な修理、分解をしない
部品の取り付けを誤ると、棚が分解し転倒してけがをする恐れがあります。また、切断面などでけがをする恐れがあります。

■ 屋外や水のかかる場所で使用しない。また、ぬれたものを置かない
棚が腐食し、倒壊する恐れがあります。

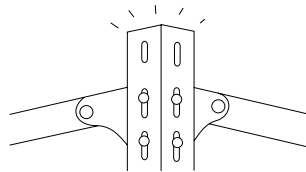
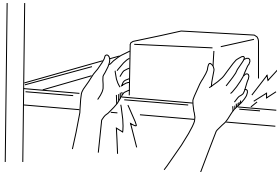
■ 火気の近くに置かない
やけど、火災の原因になります。

■ 棚板を裏向きにして使用しない
指などを折り返し部にひっかけ、けがをする恐れがあります。

■ 取付ボルトがゆるんだり、外れたままで使用しない
収納物の落下などにより、けがをする恐れがあります。

■ 解体移設をするときは組立・取扱説明書に従う
部品の取り付けを誤ると、棚が分解・転倒し、けがをする恐れがあります。

■ ボルトは正しい向きに取り付ける
逆向きに取り付けると、ボルトの先端でけがをしたり、服をひっかけることがあります。また、取り付けを誤ったり忘れたりすると、使用中に棚が分解し、けがをする恐れがあります。

■ 最上段の棚板は支柱の一番上の穴に取り付ける
支柱の端が最上段棚板よりも突き出ていると、突起部で指などをけがする恐れがあります。

●転倒防止装置（オプション）をご用意しています。購入先にお問い合わせください。
●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの組立・取扱説明書を添えてお渡しください。
※この組立・取扱説明書は、紛失しないよう大切に保管してください。

この取扱説明書は地球環境保護のため再生紙を利用しています。

ボルト締めタイプ【背板・側板付型】

組み立てるまえに

梱包内容がすべてそろっているか、ご確認ください。

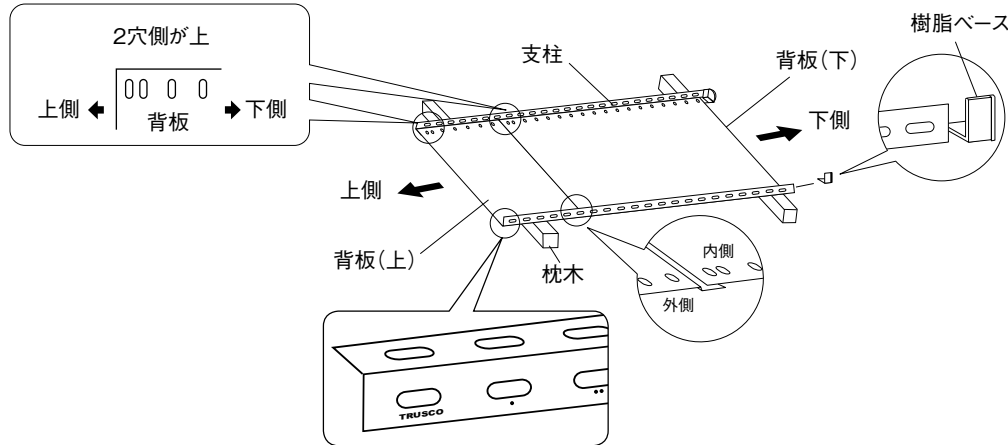
※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。
※「警告表示シール」を同梱しています。棚板前面に貼付してください。

枕木を２本ご用意ください。組み立てが容易になり、製品や床への傷つきを軽減します。
※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

組み立てかた

1 支柱（4 本）の下端に樹脂ベース（4 個）をそれぞれ取り付け､支柱 2 本を枕木の上に並べます。次に、支柱の上に背板（2 枚）を置きます。

※背板は２穴側を上に向け、背板（上）から先に置きます。次に背板（下）を、図のように背板（上）の下端に重ね合わせるようにして置きます。

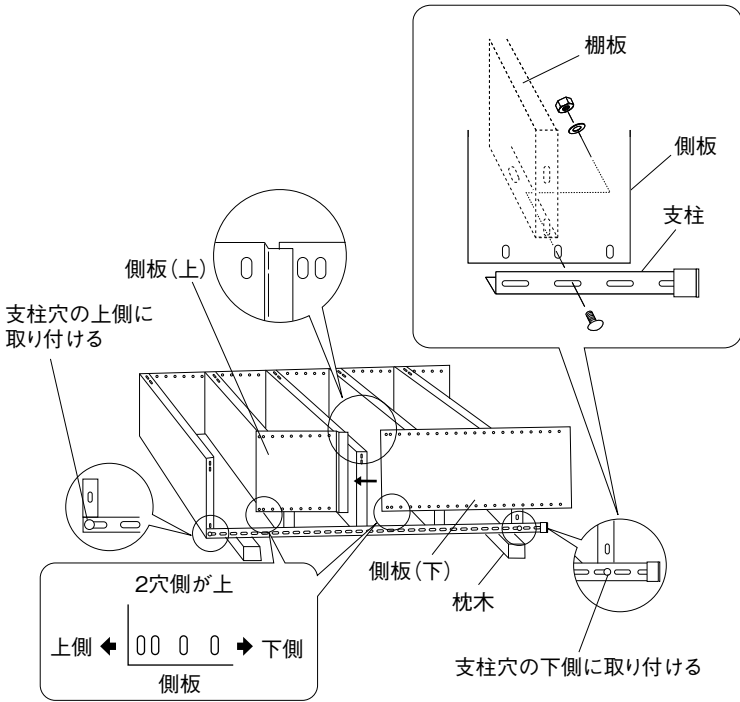
※支柱は刻印（TRUSCO • ••）の文字が上側にくるように配置します。

2 棚板を支柱２本の間に置き、棚板の取り付け間隔を決めた後、最初に背板側をボルトとナットで仮締めします。次に支柱と棚板の間に側板（左右各２枚）を入れ仮締めします。

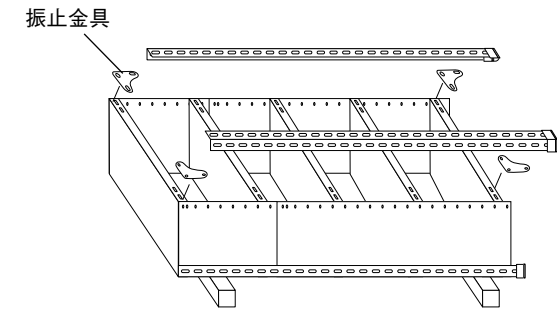
※最上段の棚板は支柱穴の上側に、その他の棚板は支柱穴の下側に取り付けてください。

※棚板は、必ず凹面を下にして取り付けてください。

※棚板は支柱の刻印を参考にしながら、左右で同じ位置になるよう支柱に取り付けてください。

※ボルトは正しい向きで取り付けてください。逆向きに取り付けると、ボルトの先端でけがをしたり、服にひっかかることがあります。

※側板は２穴側を上に向け、側板（上）から先に入れてください。次に側板（下）を、図のように側板（上）の下側に重ね合わせるようにして入れてください。

3 手順２と同様に、反対側の支柱２本を取り付け、棚板と側板ごとボルトとナットで仮締めします。このとき、最上段と最下段の棚板の正面側に振止金具（4 枚）を取り付けます。

※振止金具は、支柱と棚板の間にはさみ込むように取り付けてください。

4 水平・垂直を確認後、最上段の棚板のみ本締めします。次に棚を起こし、棚板にひずみがないよう調整した後、仮締めしていたボルトを本締めします。

5 見えやすい所に「警告表示シール」を貼って完成です。

※必ずボルト締めタイプ用警告表示シールを貼ってください。